



青い目の人形

2月校長講話より

今日は人形のお話です。(全校の前でシンシアちゃんを見せました。)

名前をシンシア・ウェーンちゃんと言います。昭和2年(1927年)3月3日に青木村にやってきました。大変珍しく、皆が歓迎しました。このとき、日本にやってきたのは12,739体。当時、日本にあった尋常小学校などの約半分にあたる数ですが、そのうちの1体が青木村にきました。ただし、この人形が今残っているのは330体程度ということです。送り主は、シドニー・ルイス・ギューリックさん、日本側の受け入れに協力したのが、実業家の渋沢栄一さんです(青木村出身の、五島慶太さんとも関係の深い方です)。

ところで、シンシアちゃんは、保管の関係から普段は村の歴史資料館にいます。ですから、今日は彼女にとって久しぶりの中学校への里帰りということになります。

さて、彼女が日本にやってきた後、時代は、昭和16年(1941年)日米開戦、太平洋戦争となります。

「アメリカは敵だ!」と我が国の多くが徹底して信じ込み、そのために青い目の人形にも憎しみが向けられました。大半の人形は、燃やされてしまったり、竹槍で突く訓練的とされてしまったりしました。現在残っている青い目の人形の中には、当時暴行を受けたことがわかるものもあるそうです。しかし、この青木村には、自分が「非国民」、つまり、国の方針に従わない者だと罰せられてしまう覚悟で、人形を隠して守った方がいたわけです。

昭和20年に戦争は終わり、その後、青木中は校舎を引っ越します。そのときに(または戦前から)シンシアちゃんは押し入れに保管され、ずっと、そのままになっていたのではないかと、思われます。そして、昭和53年11月17日に、アメリカから旅をするのに使ったパスポート、乗車チケット、送り主からの手紙などと共に、シンシアちゃんが再発見されたのです。それからずっと青木中の先輩方は大切にしてきました。



ここで、絵本を紹介します。平成2年度の卒業生3名が協力して2年生の時に作った、つまり、平成の初めの年に作られたものです。日本語と英語で物語が記され、美しい絵が添えられ、丁寧に製本してあります。人形の立場から見た歴史を綴(つづ)った、すばらしいものです。以下、その内容の一部です。

【わたしたちが日本に来てから、しばらくしてアメリカと日本は戦争を始めたのです。私たち人形に何ができたのでしょうか……。】

シンシアちゃんは、昭和の初めにやってきました。そして、平成の初めに、先輩が作った絵本があります。ここに平和の象徴として、シンシアちゃんや関係したみんなの願いが繋がってみんなの前にいる、そのように思えてなりません。



さて、シンシアちゃんの里帰り記念に、私は、デジタルカメラでシンシアちゃんの写真を撮ったんです。最近のデジカメは、みんなも知っているとおり、人の顔の所に緑色の四角が出て、顔を認識して、そこがはっきりと写るようになっています。この写真を撮ろうとカメラを向けると、何と「ピピッ」と、シンシアちゃんの顔に緑色の四角が出たんです。92年前の人形を、現代のカメラは「もの」ではなく、「人」と認識した、ということなんですね。私は、何だかうれしくて、じーんときてしまいました。シンシアちゃんが何かを語ってくれたような気がして…。

校歌の2番

「愛と誠の進取の丘」

私たちのいる「進取の丘」で
シンシアちゃんが生き抜いてきた事実

- たとえ他の多くがアメリカを憎いと言ったとしても、人形を守ろうと考えた人たちがいた。
- その愛情と誠意、つまり「愛と誠」によってアメリカと日本の友情の印が守られた。

わずかな里帰り期間になりますが、皆さんも校長室に会いに来てください。そして共に、昭和、平成、そして次の時代、シンシアちゃんと私たちの「平和」への願いがさらにつながっていくことを願っていきましょう。

今年最後の参観日

各学級、各教科の集大成を保護者の皆様に見ていただきました。
今年1年の生徒の成長や本校の授業づくり、学級づくりが保護者の皆様に伝わったように感じました。先生方の関わりや支援があって、生徒が成長してきていることを実感しました。参観日後は、PTA代議員会・総委員会も行われ、活動のまとめを行いました。一年間、様々なPTA活動にご協力、お力添えいただき、ありがとうございました。



教育長講話をいただきました。

2月15日(金)、3年生が卒業を前に沓掛教育長のお話をお聞きました。
村の教育5重点について確認しながら、小中学校での生活を振り返ったり、青木のよさと今後の方向についてグループで話し合ったりしました。そして、「青木村に育ったことに誇りをもち、自信をもってはばたいしてほしい」とエールを送っていただきました。
地域の皆様に見守られ、村で育てていただいた自分たちを実感する時間となりました。



【生徒の感想】

私は、改めて「たくさんの地域の方々を支えてもらっているんだな」と感じました。小学生の頃、寺子屋に来てくださっていた方々に勉強を教えていただいたり、児童センターでは、子どもどうしのケンカやトラブルを止めてくださったり、一緒に遊んでいたいたりしました。中学生では、伝統芸能の練習などを通して、夫神の方々や義民太鼓保存会の方々に支えられてきました。とても丁寧に教えてくださって、わからなかったところも、すぐにわかるようになりました。また、これだけではなく、生まれた頃からずっと青木村の方々に支えられてきました。私は、今まで人の支えは「当たり前」で、支えてもらうことが「普通」のことだと思っていました。でも、今回のお話をお聞きして、考えが変わりました。支えてもらうことは、「当たり前」ではなく、「ありがたいこと」だと思えるようになりました。これからは、しっかり「ありがたい」と思い、考えていきたいです。

進路セミナー

2年生は20日(水)、1年生は27日(水)に進路セミナーが行われました。2年生は、ますや旅館 宮原岳子様、郵便局長 北澤久美子様、元中村地区長 杉村善明様から、1年生は、青木村教育委員会 植田瑞穂様からお話をお聞きました。
1年生はキャリア教育のスタート、2年生は自分の進路・将来について考えるよい機会となりました。

ご報告 ~3学期の取組から~ ****

部活動運営委員会

2月14日(木)、村教育委員会、小学校長、各部保護者会長の皆様、外部指導者の方々にご参加いただき、部活動運営委員会が行われました。
この会では、国、県等の動向を受けて、本校の部活動運営、今後の部活動の在り方等について話し合われました。来年度は、今年度の部活体制を継続していくことに努め、引き続き、部活の在り方について検討を重ねてまいります。活動期間、時間などについては、今年度に準じて計画していきます。



3月の予定

- 1日(金) 修学旅行事前検診(2年) 6日(水)・7日(木) 公立高校後期選抜 8日(金) 薬物乱用防止教育授業
- 12日(火) 生徒会退会式 13日(水) 3学期終業式
- 14日(木) 卒業証書授与式
- 15日(木) 春期休業(~4/3)
- 18日(月) 公立高校後期選抜合格発表
- 22日(金) PTA会計監査 PTA役員慰労会
- 28日(木) 新2・3年登校 新年度準備



【放射性物質検査結果について】

2月の学校給食用食材の長野県産にんじん、茨城県産小松菜から放射性物質が検出されなかったことをお知らせします。

